

## 13 程度別患者数

程度<sup>※1</sup>別患者数は、前年度と比較すると内科では程度1<sup>※2</sup>の占める割合が0.4ポイント減少、程度2<sup>※3</sup>が4.3ポイント増加、程度3<sup>※4</sup>は3.9ポイント減少した。一方、小児科では、程度1が0.2ポイント減少、程度2も3.8ポイント減少し、程度3は4ポイント増加した。

※1 「程度」とは、患者の疾病の状態から来院の必要性を1から3の3段階に分類したもので、患者を診断した医師が判定する。

※2 「程度1」とは、来院が必要な患者

※3 「程度2」とは、来院も納得できる患者

※4 「程度3」とは、翌日診療で可能な患者

図表 2-13-1 程度別に見た患者数の推移

(単位：人)

		内 科			小児科			その他			総 数			合計
		程度1	程度2	程度3	程度1	程度2	程度3	程度1	程度2	程度3	程度1	程度2	程度3	
平成29年度	患者数	261	4,887	6,773	152	5,958	5,796	31	500	494	444	11,345	13,063	24,852
	比率(%)	2.2	41.0	56.8	1.3	50.0	48.7	3.0	48.8	48.2	1.8	45.6	52.6	100.0
平成30年度	患者数	260	4,555	7,119	134	5,641	4,793	27	588	505	421	10,784	12,417	23,622
	比率(%)	2.2	38.2	59.6	1.3	53.4	45.3	2.4	52.5	45.1	1.8	45.7	52.5	100.0
令和元年度	患者数	198	4,553	5,970	106	4,779	4,754	19	560	427	323	9,892	11,151	21,366
	比率(%)	1.8	42.5	55.7	1.1	49.6	49.3	1.9	55.7	42.4	1.5	46.3	52.2	100.0

図表2-13-2 程度別に見た患者数の割合の推移

